

《担当者名》福井 純子 [sfukui@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

既習の知識を基に、看護管理者としての課題とその解決に向けて必要となる理論やその活用について学修する。その上で看護管理者としての課題を整理し、解決に向けた方策について探求する。

【学修目標】

1. 臨床現場における人材育成に活用できる理論や考え方を学び、自組織における実践への活用が検討できる。
2. 看護管理者としての自分自身を客観的に分析し、今後の看護管理の実践に向けて課題を探求できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1) 2	看護管理者に求められるコンピテンシーと看護管理者の能力開発	看護管理者としての自分自身を客観的に理解する。看護管理者に求められるコンピテンシーについて学び、自分自身の課題に引き寄せて看護管理者の能力開発について探求する。	福井
3) 4	看護管理に活かすポジティブマネジメント	看護管理者としての自分自身を客観的に理解する。看護のためのポジティブマネジメントについて学び、自分自身の課題に引き寄せて今後の方策について探求する。	福井
5) 6	看護管理に活用するリーダーシップ論	リーダーシップ論について概観して理解する。その上で、自分自身のリーダーシップスタイルの確立や、リーダーを育成するにあたっての課題や方策について探求する。	福井
7) 8	看護管理に活用する経験学習理論	経験学習の理論を理解する。その上で、自組織における人材育成の課題や取り組みを踏まえ、人材育成にあたっての経験学習理論の活用可能性やその方策について探求する。	松尾睦（特別講師） 福井
9) 10	看護師の継続教育における看護管理者の役割	看護師の継続教育に関する理論や現状を理解する。自組織における課題や取り組みを踏まえ、専門職としての看護職の育成について、看護管理者が果たす役割を探求する。	福井
11) 12	看護師のキャリア支援における看護管理者の役割	キャリア支援に関する理論や現状を理解する。自組織における課題や取り組みを踏まえ、専門職としての看護職のキャリア支援について、看護管理者が果たす役割を探求する。	福井
13) 14	臨床倫理と看護管理	臨床において、倫理的な看護実践がおこなえているか、倫理的感性を育成するために看護管理者としてどのようにしたらよいかについて、臨床倫理の基本と事例検討について学び、体験した上で検討する。更に自組織での活用可能性について探求する。	福井
15	統合) 看護管理学領域の研究への応用	看護管理学領域における研究を概観的に捉え、先行研究を批判的に検討する。既習の学習課題での学びと統合し、今後研究的に取り組むべき課題について探求する。	福井

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

プレゼンテーション（30%）、ディスカッション（40%）、小レポート（30%）を通して総合的に評価する。

【教科書】

井部俊子,他監修(2019): 看護管理学習テキスト第3版. 第1巻, 別巻, 日本看護協会出版会.

井部俊子,他監修(2019)：看護管理学習テキスト第3版．第2巻，別巻，日本看護協会出版会．
井部俊子,他監修(2019)：看護管理学習テキスト第3版．第3巻，別巻，日本看護協会出版会．
井部俊子,他監修(2019)：看護管理学習テキスト第3版．第4巻，別巻，日本看護協会出版会．
井部俊子,他監修(2019)：看護管理学習テキスト第3版．第5巻，別巻，日本看護協会出版会．
井部俊子,他監修(2019)：看護管理学習テキスト第3版．別巻 看護管理基本資料集，日本看護協会出版会．

【参考書】

手島恵(2014)：看護のためのポジティブ・マネジメント，医学書院．
武村雪絵(2014)：看護管理に活かすコンピテンシー，メヂカルフレンド社．
花田光世(2013)：「働く居場所」の作り方 あなたのキャリア相談室，日本経済新聞出版社．
金井寿宏(2005)：リーダーシップ入門，日本経済新聞社．
ロバート・K・グリーンリーフ(2008)：サーバントリーダーシップ，英治出版．
石垣靖子，清水哲郎(2012)：臨床倫理ベーシックレッスン，日本看護協会出版会．
松尾睦(2011)：職場が生きる 人が育つ 「経験学習」入門，ダイヤモンド社．
松尾睦(2019)：部下の強みを引き出す 経験学習リーダーシップ，ダイヤモンド社．

【備考】

ゼミナール形式で、文献購読及びプレゼンテーションとディスカッションを中心に授業をすすめる。

【学修の準備】

各授業テーマに関連する内容について、教科書（看護管理学習テキスト）の該当部分の通読しておくこと。
プレゼンテーションは、参考書及びテーマに関連する研究論文を用いて理論の理解を深める。その上で、自組織のおかれている現状や看護管理者としての自分自身の課題と照らし合わせて授業に備えること。